

恩賜財団母子愛育会主催

研修名：周産期のこころをケアする人の育成事業研修

研修参加者募集

1. 研修概要

研修名：周産期のこころをケアする人の育成事業研修

研修目的：周産期メンタルヘルスに精通した専門家を育成し、日本の周産期メンタルヘルスケアの質を向上させる。誰もが安心して子どもを生み育てやすい環境をつくり、周産期自殺・虐待死をゼロにする世の中を目指す。

研修内容：周産期は多くの女性・家族にとって喜ばしい時期である一方、様々なストレスを感じる時期でもあります。この時期のストレスは母体に心理的不調をきたすだけでなく、育児や夫婦・家族関係にも様々な悪影響を与えます。多くの不安や心配を抱える女性や家族に寄り添うために、周産期メンタルヘルスの正常～病理を基礎から正しく学び、臨床で活かせる心理支援のスキルを習得します。

研修の特徴：【評価技法】、【心理支援技法】、【多職種連携技法】について、ご自宅で動画教材を使用し事前学習していただきます。その後、【心理支援技法】の習得を中心に、演習やグループワークを交えた5回の対面研修を行います。実際の臨床場面で活かせるスキル習得を目指しています。

本研修は恩賜財団母子愛育会が日本財団の助成を受けて実施する事業です。1年目の研修を修了した方は、2年目以降その知識・経験を活かし運営スタッフとしてご参加をお願いする可能性があります。

研修期間：2024年7月～2025年3月

募集人員：15名程度

募集期間：2024年5月～2024年6月半ば(募集人員に達し次第締め切り)

教材：動画教材『周産期メンタルヘルスプロフェッショナル研修』^{注1}
(初級編24巻、中級編24巻)北村メンタルヘルス学術振興財団

修了書：研修修了証発行あり

(北村メンタルヘルス学術振興財団より動画研修修了証発行もあり)

参加条件：有資格者（保健師、助産師、看護師、心理士等）、全5回出席可能な方、
周産期領域・メンタルヘルスに興味がある方

費用：無料

申し込み方法：QRコードを読み取り、必要事項をご入力ください



お問い合わせ先：aiikumental@aiiku.net

担当：佐藤、山崎

2. 研修内容

日程	研修内容	講師 ファシリテーター
7月～8月	動画教材『周産期メンタルヘルスプロフェッショナル研修 ^{注1} 』を個別配信します。 各自ご自宅で学習し、研修に備えて下さい ・初級編24本（約15分/本） ・中級編24本（約15分/本）	動画研修の詳細は注1をご覧ください
9月1日(日) 第1回研修会 10:00～16:00	導入、心理支援（基本スキル）の習得 AM：導入、基本スキルの演習1 PM：基本スキルの演習2とグループワーク	大橋優紀子 石川紀子 他
10月13日(日) 第2回研修会 10:00～16:00	応用スキルの習得と各論 AM：周産期メンタルヘルス各論 PM：応用スキルの演習	大橋優紀子 齋藤知見 他
11月10日(日) 第3回研修会 9:30～16:45	応用スキルの習得 AM：講義 PM：演習とグループワーク	北村俊則 宮崎倫美 他
12月1日(日) 第4回研修会 9:30～16:45	心理支援の実際 AM：症例経過提示 PM：演習とグループワーク	北村俊則 齋藤知見 他
1月12日(日) 第5回研修会 10:00～16:00	まとめのグループワークと発表	大橋優紀子 野馬利恵子 他

【講師・ファシリテーター紹介】

北村俊則　こころの診療科きたむら醫院院長、北村メンタルヘルス学術振興財団理事
北村メンタルヘルス研究所所長

大橋優紀子　城西国際大学看護学部教授

石川紀子　愛育病院看護部長

齋藤知見　愛育クリニック周産期メンタルヘルス科副部長、愛育研究所研究企画部次長

野馬利恵子　愛育病院教育担当師長、愛育研究所研究員

宮崎倫美　愛育研究所研究員

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会



公益財団法人日本財団



注1 【動画教材】周産期メンタルヘルスプロフェッショナル研修

北村メンタルヘルス学術振興財団

<https://www.kitamura-foundation.org/training2.html>

1) 初級編

① 評価技法コース (各巻12-15分)

周産期に起こりうる疾患・問題の評価法を学びます

- 1巻 周産期におけるメンタルヘルス評価の重要性
- 2巻 周産期精神疾患の疫学
- 3巻 周産期の気分障害
- 4巻 周産期の不安を中心とした障害
- 5巻 周産期の精神病性障害
- 6巻 児童虐待と配偶者暴力
- 7巻 周産期ボンディングとその障害
- 8巻 周産期の悲哀

② 援助技法コース (各巻12-15分)

具体的な援助技法を基礎から学びます

- 1巻 援助技法の基礎：面接の準備
- 2巻 援助技法の基礎：面接の基本
- 3巻 援助技法の基礎：基本的共感と葛藤の共感
- 4巻 援助技法の基礎：プローブと面接の深化
- 5巻 援助技法の事例 (1)
- 6巻 援助技法の事例 (2)
- 7巻 援助技法の事例 (3)
- 8巻 回復のメカニズム

③ 多職種連携技法コース (各巻12-15分)

多職種連携の重要性と実際に起こりうる問題を学びます

- 1巻 精神科医療における多職種
- 2巻 他科との連携
- 3巻 周産期メンタルヘルスと子育て支援サービス前編
- 4巻 周産期メンタルヘルスと子育て支援サービス後編
- 5巻 メンタルヘルスと法律
- 6巻 周産期メンタルヘルスと精神保健福祉法
- 7巻 児童福祉法と児童虐待防止法
- 8巻 医療における生命倫理

2) 中級編

① 評価技法コース (各巻12-15分)

- 1巻 心理症状の捉え方 (1)
- 2巻 心理症状の捉え方 (2)
- 3巻 心理メカニズムの理解 (1) ストレスと対処行動
- 4巻 心理メカニズムの理解 (2) ソーシャルサポート
- 5巻 心理メカニズムの理解 (3) 認知パターン
- 6巻 心理メカニズムの理解 (4) 成人のアタッチメントと夫婦適応
- 7巻 ボンディング障害の構造と評価技法
- 8巻 児童虐待と配偶者間暴力の評価

② 援助技法コース (各巻12-15分)

- 1巻 面接の開始
- 2巻 援助技法の事例 (1)
- 3巻 援助技法の事例 (2)
- 4巻 援助技法の事例 (3)
- 5巻 質問から基本的共感へ
- 6巻 面接全体の枠組み
- 7巻 クライエントの尊重とさまざまな問題
- 8巻 周産期メンタルヘルスの生物学的療法

③ 多職種連携技法コース (各巻12-15分)

- 1巻 急性精神病性障害事例の連携
- 2巻 診療所・病院・行政・助産院・保育園の連携 (1)
- 3巻 診療所・病院・行政・助産院・保育園の連携 (2)
- 4巻 精神科受診の勧め方 (1) 調査票の功罪
- 5巻 精神科受診の勧め方 (2) 正しいEPDSの使い方
- 6巻 養子縁組斡旋団体への相談 実践編
- 7巻 医療における生命倫理 (1)
- 8巻 医療における生命倫理 (2)

